

(様式)

府立交野支援学校 「平成25年度 学校協議会」報告書(第3回)

日時	平成25年11月22日(金) 13:00~15:00			
出席者	協議会委員	職名等	学校事務局	校務分掌等
※ 傍聴者 なし	野間田 徹	交野自立センター所長 (委員長)	高塚 良則	校長
	金見 幸夫	元府立学校 校長 (副委員長)	井上 昌二	准校長
	大河内 孝子	交野市森地区区長	松尾 光雄	本校教頭
			南 佐和則	四條畷校教頭
	小林 桂子	交野支援学校PTA会長	山崎 静一	事務長
	光達 幸子	交野支援学校四條畷校PTA会長	鈴木 亮彦	四條畷校首席
			西嶋 邦郎	本校小学部主事
			志賀 泰彦	本校中学部主事
			米良 知之	本校高等部主事
テーマ	● 本年度の学校経営計画(本校、四條畷校)			
協議内容の概要	<p>★学校評価について(学校教育自己診断の報告)</p> <p>本校(報告と分析:事務局)回収率:保護者75%,教職員78%,児童生徒20%</p> <ul style="list-style-type: none">● 保護者 ・学校満足度は平均約80%。● 課題は、施設・設備面ではまだ不十分。ICTも不足気味なので同様である。HPについてもポイントが低い。今年度は教職員の研修計画・実施と授業について新たに発信した。内容の充実を図り、さらに増やしたい。● 児童生徒 ・回答可能な児童生徒は32人であったが満足度は高い。● 教職員 ・概ね満足度は25問中21問が約70%を超えているが、“教材研究等の時間”“意見の反映度”“業務の平準化の度合い”“設備施設”の4点は50%を下回っている。来年度は、会議のない日を週に1回設定したい。キャリア教育に関しては、教職員の共通理解を深め、保護者へ周知していく必要がある。進路や就職に特化しない、自立やコミュニケーションといった広義のキャリア教育をすすめていきたい。 <p>四條畷校(結果と分析,回答:事務局)回収率:保護者約80%,教職員約90%</p> <ul style="list-style-type: none">● 保護者 ・情報提供に関する満足度が低いので、HPを充実させる。参観週間等の充実をさらに図る。● 教職員 ・安全安心では、事故の再発防止に向けて対策、施設等の安全確認をしっかりと実施する必要がある。● 個別の指導計画では、作成するだけでなく、活用する。● 専門性の向上では、授業アンケートを生かして授業改善に取り組み、外部講師を招いて研修等を充実したい。● 特色ある取組みとして、中高6年間の利点を生かす。中学部段階から、キャリア教育の充実を図る。 <p>★本年度学校経営計画の達成状況と平成26年度の学校経営計画について</p> <p>本校:事務局</p> <ol style="list-style-type: none">① 安全・安心 …登下校時のマニュアルについては、まだ完成していない。来年度は、食料備蓄3日分をめざす。② 専門性 …初任者指導に力を入れ、PT、OT、STによる教職員の指導。来年度は、アセスメントの充実を図る。③ キャリア教育 …学部間を“つなぐ”視点を持てるような教育活動・授業にしていきたい。④ センター的機能 …地域へ年間では130件くらい巡回指導等に出た。来年度は地域の先生の能力向上をめざす。⑤ 組織力 …今年度は学校経営会議を週に1回もつことができた。 <p>四條畷校:事務局</p> <ol style="list-style-type: none">① 安全・安心 …個人カードを作成した。来年度は防災意識の向上をはかりたい。② 専門性 …経験の少ない教員が研究授業を22人行い、4年目の教職員が教育実習生を指導した。来年度は、採用2年・3年目教員の代表が研究授業をして協議を充実させ、経験の少ない教員への研修の充実を図る。③ キャリア教育 …実習先開拓は目標近くの93件、巡回訪問を151件それぞれ実施。来年度は、クリーンコース授業のさらなる充実を図り、希望者の100%就職をめざす。中学部の生徒への、コースのイメージづくりの強化。④ センター的機能 …来年度も今年と同様、コーディネーターと若手教員を組み合わせる経験を積ませる。 <p>★意見交換 <質問のキーワード(太字)と事務局からの回答></p> <ul style="list-style-type: none">● 防災について マニュアルについては、できて終わりではなく、時間をかけて教員が自分たちのものにする。● 児童生徒のアセスメントについて アセスメントには幅広い知識と経験があるので、外部の社会福祉医療人材を活用している。発達検査については支援の手立てとして活用する。細かい『落ち込み』部分が見えてくるので、課題がつかみやすい。授業の技術も大切だが、子どもをどうみて、どう対応するかの基盤をしっかりとしていかなければならない。			